

# Weekly コラム

令和5年10月17日

〒541-0055 大阪府中央区船場中央 2-1

船場センタービル 4号館 4階

船場経済倶楽部

Tel 06-6261-8000

(NPO 法人 SKC 企業振興連盟協議会)

Fax 06-6261-6539

人の輪・衆智・繁栄

## 活動方針



当団体は、異なる業種の経営者が相集い、力を合わせ、自らの研鑽と親睦を通じて、斬新な経営感覚と新たな販売促進を創造して、メンバー同士でより健全な事業所とその事業所のイメージアップを図り、地域社会に貢献できる事業所となることを目的とする。

## 分断の時代

3月19日、スイスの中央銀行であるスイス国立銀行は、UBSによるクレディ・スイス買収を発表しました。クレディ破綻を回避するために、スイス政府が支援に働かざるを得なくなった理由は、その直前の3月15日、クレディの筆頭株主であるサウジ・ナショナル銀行の会長が追加的な資本、流動性資金の提供を否定したとのメディアの報道でした。過去、多くの世界的な金融機関は経営危機に瀕した際に、中東勢から資金提供を受けてきました。オイルマネーの潤沢な資金力を背景に、中東勢は友好的な投資家として欧米金融機関に多額の資金を供給してきましたが、今回これが翻ったことになりました。

その数日前の3月10日午前11時前、北京の人民大会堂で習近平国家主席が、中国では初めての国家主席として3期目の再選が全会一致で決まりました。そしてその日に中国の仲介によって、中東で覇権を争ってきたイランとサウジアラビアの関係が正常化に向かう、と発表されました。両国はペルシャ湾を軸として向かい合い、ともに産油国として経済的・政治的な影響力を周辺国に対し駆使して、中東の覇権争いを続けていました。

また、同じイスラム教の国ではあるものの、イランがシーア派の代表国でサウジアラビアがスンニ派の代表国と、対立する宗派の関係でもあります。対立が決定的になったのは2016年1月で、サウジアラビア政府が国内では少数のシーア派の宗教指導者を処刑したことでした。それに対しイランで反発の声が高ま

りサウジアラビア大使館が襲撃されることとなり、両国の関係は断絶しました。

イラン、サウジアラビアは共に、仲介者としての中国を必要としていた背景があります。イランは敵対する欧米からの制裁の影響で経済が苦境にあえぐ中、中国は原油を輸出できる数少ない国です。サウジアラビアにとっても原油の2割以上を輸出する最大貿易相手国です。それゆえに両国がエネルギーを軸に関係を深めてきた結果、仲介者として成功したと見られています。

これまで中東和平交渉と言えば、歴代の米国大統領が挙げられました。しかしながら、現在はその座を中国に奪われてきております。ロシアのウクライナ侵攻以後、中国・ロシアと欧米の分断対立が深まる中、一大産油地域である中東がどちらの陣営に傾いていくことになるのでしょうか。米債務上限問題を目前に控える現在ですが、その後もさらなる脅威が待っているようです。



記事の内容に関するお問い合わせは事務局までご連絡ください。

ウィークリーはメールでの配信も行っております。お手数ですが、「メール希望」・「配信停止希望」と件名にご入力の上、

skc-soudan@skc.ne.jp まで空メールをご送信ください。また、FAX ご不要の際は、その旨をお電話にてお申しつけください。